

1 学校教育目標

○よく考え進んで実行する子 ○なかよく助け合う子 ○心も体もきたえる子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

| | |
|---------|---|
| ○学校像 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童が自ら学び、自ら考え、学ぶ意欲を育成する学校 ・心と体の健康づくりを進め、豊かな人間関係を育成する学校 ・保護者・地域・教職員が互いに尊重・理解し合い、協働で児童を育成する学校 |
| ○児童・生徒像 | <ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び、考え、判断し、問題を解決しようとする児童 ・素直で明るく、優しく、進んであいさつができる児童 ・お互いに、心を耕し、体を鍛え、高め合う児童 |
| ○教師像 | <ul style="list-style-type: none"> ・子供の心が分かり、熱意と使命感のある教師 ・どの子も分かる喜びをもてる授業をつくり、自らも学び続ける教師 ・組織人としての自覚をもち、主体的に学校運営に参画する教師 |

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

- 学校…児童一人一人の基礎的・基本的な学習内容の定着を図るために個別指導に力を入れている。学習直後は定着が図られ、児童の自己肯定感も高まっているが、読解力になお、課題がある。特色ある教育活動として、落語や俳句、百人一首、将棋等の伝統的文化活動を積極的に進めている。
- 児童…明るく素直な児童が多く、落ち着いて学校生活を送っている。自ら考え、主体的に取り組む姿勢を育てていきたい。
- 教師…日々の教育活動に熱心に取り組み、授業改善を図っている。外国語活動・外国語科の校内研究に熱心に取り組み、授業力向上を目指している。
- 地域・保護者…PTA、開かれた学校づくり協議会、放課後子ども教室、学習支援ボランティアなど学校への理解が厚く、協力的であり、日々支えられている。

【成果と課題】

- 学力向上…学力向上部会を中心に、全校で基礎学力の定着・向上に取り組んだ。その結果、当初の区学力調査結果の数値が10月の再実施では、国語・算数ともに4月調査の結果より+8%になった。さらに2月に実施した本年度（現学年）の区学力調査通過率では、区平均と同じ83.7%となった。今後も引き続き基礎的・基本的な内容の定着が不十分な児童に対して、個に応じた指導を充実させることと、全児童に読解力をつけていくこと。また、地域や地域人材を活用させていただき、体験的活動を一層推進していく中で、児童が知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力を高め、主体的・協働的に学ぶ学習を目指していく。
- 健康な心身の育成…あいさつを重視して、あたたかな人間関係を育ててきた。今後も思いやりの心をさらに育てていく。いじめや不登校傾向、児童の生活指導上の問題行動等には、全校で共通理解を図りながら組織的に対応してきた。また、日頃から体力向上を意識し、計画的に取り組んでいく。
- 家庭・地域との連携…地域の幼稚園・保育園・中学校とできる形で交流を進めてきた。また、地域や地域人材を活用させていただき学習を進めることができた。今後は、活動したことの発信に努め、引き続き地域の中の湊江小学校として活動し、学校愛・地域愛を育てていく。

4 重点的な取組事項

| | 内 容 | 実施期間（年度） R:令和 | | | | |
|---|--------------|---------------|----|----|----|----|
| | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 1 | 学力向上アクションプラン | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 2 | 健康な心身の育成 | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ |
| 3 | 家庭・地域との連携 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

5 令和5年度の重点目標

| 重点的な取組事項－1 | | 学力向上アクションプラン | | | | | | | |
|-----------------------|------------|---------------------------------------|------------------------------|--|---------------------|--------------------------------------|-----------|-------------|-------------|
| A 今年度の成果目標 | | 達成基準 (目標通過率) | | 実施結果 (通過率結果) | | コメント・課題 | | 達成度 ◎○△● | |
| 国語・算数の基礎的・基本的な学習内容の定着 | | 4月には国語・算数共に80%、10月の再調査では、90%の通過率を目指す。 | | | | 自己評価の際に記入 | | | |
| B 目標実現に向けた取組み | | | | | | | | | |
| 新・継 | アクションプラン | 対象学年 実施教科 | 頻度・ 実施時期 | 具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように) | 達成確認 方法 | 達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度) | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 ◎○△● |
| 継続 | けやきタイム | 国語 ・算数 | 週1時間 | 全学年の担任が読解力に特化した指導とつまずき解消に向けた指導を行う。 | 区学力調査年度末の目標通過率80%以上 | 年間20回以上実施 | 自己評価の際に記入 | | |
| 継続 | パワーアップタイム | 国語 ・算数 | 火:計算 水:読書 木:漢字 金:作文 | 朝の会開始前15分で実施。火曜・木曜はAIドリルの活用で個に応じた漢字・計算の学習と音読、水曜は読書、金曜は短作文に取り組み、読み・書き・計算の力を身に付けさせる。 | 管理職による確認 | 1年のみ6月から。2年以上は、4月から各担任が100パーセント実施する。 | | | |
| 継続 | ICTを活用した授業 | 全教科 | 通年 | 授業の中でICTを活用する。 | 授業観察 | 自己申告時に1回以上授業公開。 | | | |

| | | | | | | | | | |
|----|--------------------|----------|--------------------|--|-------------------|--|--|--|--|
| 継続 | 放課後補習教室 (けやき教室) | 国語 算数 | 火・金・ の週2 回設定 | 【指導者体制】 担任+専科+COM 教員 【取組のねらい・目的】 つまずきのある児童の 補習を行う。 【どのように】 演習を中心に個別指導。 | 1回30分×年 間30回以上 | 補習開始時と 終了後の確認 テストで正答 率を80%以上 にする。 | | | |
| 継続 | 算数・漢字 コンテスト | 全学年 | 夏・冬休 み前 | 長期休業前に「算数・漢字 コンテスト」として定着度 テストを実施する。 | 年2回実施 | 80%で合格。 不合格者は、休 業明けに再テ スト実施。9割 の児童が合格。 | | | |
| 新規 | 読書活動 | 全学年 | 通年 | 足立読書通帳の活用。年間 低学年80冊以上、中学年 50冊、高学年30冊以上。 | 読書通帳の 点検 | 100% | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|---|---|--|--|--|----------------|--|------------|--|
| 重点的な取組事項－2 | | 健康な心身の育成 | | | | | | | |
| A 今年度の成果目標 | | 達成基準 | | 実施結果 | | コメント・課題 | | 達成度 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 思いやりの気持ちと態度の育成。 年間を通じた体力向上へ向けての取組を積極的に行う。 | | <ul style="list-style-type: none"> 年3回のいじめ調査において、対応後、すべて解決する。 日常の体育の時間に計画的に取り入れる。 | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div> | | | | | |
| B 目標実現に向けた取組み | | | | | | | | | |
| 項目 | 達成基準 | 具体的な方策 | | 実施結果 | | コメント・課題 | | 達成度 | |
| 気持ちの良い挨拶と規範意識の向上 | 学校評価アンケート「挨拶と規範意識」の肯定的評価80%以上。 | <ul style="list-style-type: none"> 「挨拶・返事・くつそろえ」を年間を通して指導。 家庭・地域への啓発。 | | | | | | | |
| 交流活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> たてわり班活動を年8回以上実施する。 異学年交流を2回以上実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> 計画を基に、たてわり班活動を実施する。 学習の中に、異学年との交流を計画する。 | | | | | | | |

| | | | | | |
|----------|-----------------------|--|--|--|--|
| 体育的活動の充実 | 体力向上に向け、年間を通して全校で取り組む | <ul style="list-style-type: none"> ・体力調査の項目について、体育授業の始め5分に取り入れ、年間を通じて向上を図る。 ・中休みの外遊びとふちえパークの計画的活用。 | | | |
|----------|-----------------------|--|--|--|--|

| | |
|-------------------|-----------|
| 重点的な取組事項－3 | 家庭・地域との連携 |
|-------------------|-----------|

| A 今年度の成果目標 | 達成基準 | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 |
|---------------------------------------|-------------------------------|------------------|---------|-----|
| 学校・家庭・地域の中に、「家庭・地域と共に育つ学校」という共通意識をもつ。 | 学校評価アンケート「連携について」の肯定的評価80%以上。 | 自己評価の際に記入 | | |

| |
|----------------------|
| B 目標実現に向けた取組み |
|----------------------|

| 項目 | 達成基準 | 具体的な方策 | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 |
|-------------------------|--|---|------------------|---------|-----|
| 地域や地域人材を活用させていただいた教材の開発 | 各学年2回以上実施 | 1,2年は生活科で公園探検や地域探検、3～6年は社会・総合的な学習の時間での地域人材や外部機関との連携学習を実施する。 | 自己評価の際に記入 | | |
| 保護者による年間2回の学校評価の実施 | 2回の学校評価アンケートの平均回収率70%以上 | 年2回アンケートを実施。変容の分析と課題への迅速な対応・改善。 | | | |
| 幼保小中連携 | 小中連携は授業研究の交流3回、その他の研修4回、生徒・児童交流は、2回実施。幼保小連携は、園児・児童交流2回以上、教員交流3回以上実施。 | 8分科会に分かれての授業改善と評価についての研究・研修を実施。また、園児との交流を2回以上行う。 | | | |

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

自己評価の際に記入します。
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）